

平成 30 年度 3 学期始業式挨拶

校長 岩田 学

新年おめでとうございます。

年末年始休業中は、どのような過ごし方をしたでしょうか。部活動、アルバイト、神社や国内旅行、海外研修に出かけた人、あるいは正月返上で模擬試験や勉強した人も多いでしょう。いずれにしても、年も新たに先生方も含めて全員が一同に会することができるのは、とても嬉しいことです。今年は亥年。実直で逞しい学校生活を送りたいものです。

3年生の皆さん、いよいよあと2週間でセンター試験を迎えます。3年間の高校生活を総括する時が来たということです。一人ひとりの希望が形になることを願っています。その後は、4月から始まる新しい生活への準備などで慌ただしい日々となりますが、1日、1時間を無駄にせず、篠高生として有終の美を飾るようにしてください。

また、2年生にとっても、3学期は2年間の学びと体験をとおして悩み考え相談しながら、いよいよ自分の進路を具体的に定め、その実現に向けてやるべきことが明確に見える時期です。4月からでは遅いですよ。今から、3年生としての学習や活動を意識した心の準備と行動力が必要です。この学期を3学年のスタートとして過ごしてください。

そして1年生。4月に希望と少しの不安を抱えて入学して以来、先輩の姿や先生方の指導そして仲間との切磋琢磨の中で何を得てきたでしょうか。どんな成長を実感できるでしょうか。入学式では、これから送る高校生活で学んで欲しい、身につけて欲しい、あるいは取り組んで欲しい3項目を挙げました。覚えていますか。『知的好奇心』『英語力』『未来への志』です。謙虚に知識や技能を吸収しようとしたか。英語の検定試験などに積極的に挑戦しましたか。自分の言葉で志を語って来ましたか。こんな観点で考えてみてください。

3学期で高校生としての全ての基礎作りを終え、4月からは、自分像のビルディングに取りかかりましょう。

結びに、年末年始は雪も少なく温かい日もありましたが、これから厳しい気候が続きます。インフルエンザや雪道での事故、そして火災には十分に気をつけてください。皆さんの高校生活や社会生活を支える一番の基本は、身体も心も健康であるということです。篠高生一人ひとりが、志と希望を胸に3学期を澁刺と乗り切れるよう心から期待しています。